



神奈川県理学療法士会

2024年度新人オリエンテーション

(公社)神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 災害対策部
saigaitaisaku@pt-kanagawa.or.jp



11 住み続けられる
まちづくりを



災害時における理学療法士の役割

災害リハビリテーションとは

被災者・要配慮者などの災害関連死や生活不活発(廃用症候群)等を防ぐために、リハビリテーション医学・医療の視点から関連専門職が組織的に支援を展開することで、被災者・要配慮者などの早期自立生活の再建、復興を支援する活動の全てをいう。

(一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会:JRAT,2019)

(参考)重点化すべき15のプログラム

基本目標	事前に備えるべき目標	番号	プログラムにより回避すべき起きてはならない最悪の事態
<p style="text-align: center;">令和5年度 国土強靱化関係予算案の概要</p> <p style="text-align: center;">令和4年12月 内閣官房 国土強靱化推進室</p> 	<p>1 直接死を最大限防ぐ</p>	1	住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生
		2	広域にわたる大規模津波等による多数の死傷者の発生
		3	突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生
		4	大規模な火山噴火・土砂災害(深層崩壊)等による多数の死傷者の発生
	<p>2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する</p>	5	被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止
		6	自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足
		7	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生
	<p>3 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する</p>	8	災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態
		9	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下による国際競争力の低下
	<p>4 経済活動を機能不全に陥らせない</p>	10	太平洋ベルト地帯の幹線が分断する等、基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響
		11	食料等の安定供給の停滞
		12	電力供給ネットワーク(発電電所、送配電設備)や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能の停止
	<p>5 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる</p>	13	上水道等の長期間にわたる供給停止
		14	地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生
	<p>6 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない</p>	15	農地・森林等の被害による国土の荒廃

強国
靱化土
NATIONAL
RESILIENCE

- I. 人命の保護が最大限図られる
- II. 国家及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けずに維持される
- III. 国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- IV. 迅速な復旧復興

災害リハビリテーション支援とは(※)



公衆衛生支援
健康支援
回復支援
生活環境支援



災害時における理学療法

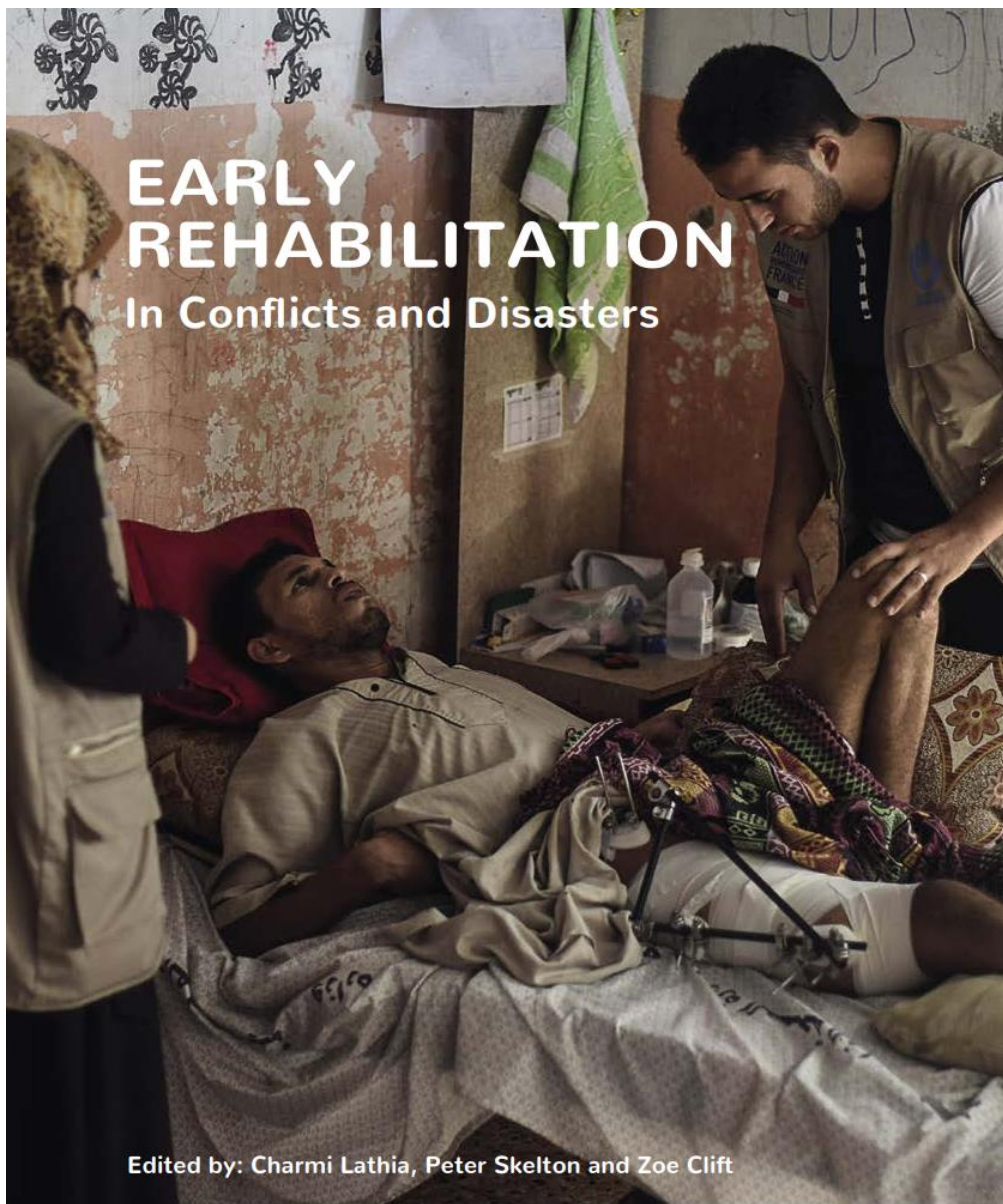
- 避難所の生活環境評価と調整
- 補装具、福祉用具の選定・調整・指導
- 生活不活発病予防のための運動指導
- 他職種との連携
- 各医療機関および施設等で不足した理学療法士の
一時的な補填

対象＝災害時要配慮者（災害時における要配慮者）とは

高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人等
「ひとりでは災害に対する備えや、災害時に避難行動などが困難で、被害を受けやすい障害者や高齢者、特殊な病気の方など、日頃から周りの支援や手助けを必要としている人」



C (Child)	子供
H (Handicapped person)	障がいを持った人
E (Elderly People)	老人
C (Chronically ill)	慢性疾患(透析・糖尿病etc)
T (Tourist)	旅行者(外国人を含む)
P (Pregnant)	妊婦



EARLY REHABILITATION

In Conflicts and Disasters

Edited by: Charmi Lathia, Peter Skelton and Zoe Clift



紛争・災害時における早期のリハビリテーション

早期のリハビリテーションは、紛争や災害における患者の回復の不可欠な部分であると認識されています。

急性期医療から始めて、早期のリハビリテーションは合併症を防ぎ、回復を早め、ケアの継続性を確保するのに役立ちます。

早期のリハビリテーションに従事するリハビリテーションの専門家は、幅広い臨床領域にわたるスキルを必要とし、紛争や災害では、患者数の急増、限られた機器、複雑な臨床症状などの課題に対処できる必要があります。

REHABILITATION IN EMERGENCIES

Emergencies can result in a massive surge in traumatic injuries, for which rehabilitation is an essential component of care.



In emergencies it can be difficult for people to access rehabilitation services

Early access to rehabilitation in emergencies:

Helps speed up recovery and prevent complications that could prolong admission



Helps to achieve the best long-term outcomes for the patient

Rehabilitation in the EMT:



Can assist in identifying a patient's needs beyond discharge and refer them to the appropriate services



Can support a patient to self manage and continue their recovery after they leave the hospital

For more information about the WHO rehabilitation standards for EMTs visit: <https://extranet.who.int/emt/>



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部

Kanagawa Physical Therapy Association Department of disaster measures

Smile for Japan その時 私たちにはできることがあります



facebook®

[https://www.facebook.com/
pages/Kanagawa-Physical-Therapy-Association](https://www.facebook.com/pages/Kanagawa-Physical-Therapy-Association)

HP

<http://pt-kanagawa-saigai.com/>



神奈川県理学療法士会

事務局 災害対策部

・DWAT(災害派遣福祉チーム)メンバー
○JIMTEF(災害医療研修コース)修了者

担当理事/部長	下田 栄次○	(湘南医療大学)
副部長/会計	山田 祐介○	(足柄リハビリテーションサービス)
	中橋 真弓○	(社会医療法人 社団 三思会)
	今川 祐子○	(リノア茅ヶ崎)
	松田 梓 ○	(めぐみの里/ソーレ平塚)
	須貝 勝 ○	(伊勢原協同病院)
	西谷 真亜沙○	(新横浜リハビリテーション病院)
	川越 潤一	(桜が丘中央病院)
	金田 拓人	(桜が丘中央病院)
	山城 諒一郎	(ふれあい町田ホスピタル)
	前田 拓	(横浜市立大学附属市民総合医療センター)
	鳴澤 肇希	(足柄リハビリテーションサービス)
相談役/副会長	松本 肇	(鶴巻温泉病院)

会 員

□会員向けサービスの充実

- 地域での会員ネットワークの強化

顔の見える、声の聞こえる関係づくり

- 会員が必要とする地域の情報の共有
- 市町村からの依頼に対する迅速な対応
- 郡市医師会など地域の諸団体との連携強化
- 地域での勉強会の活性化
- 業務支援（患者情報のスムーズな流れ）・就労支援
- 災害時の被災会員支援



神奈川県理学療法士会

災害対策部の 役割

県 民

□理学療法士によるサービス提供の充実

- 地域全体で住民を支える急性期より人生の幕引きまでのシームレスな患者対応
- 地域包括ケアシステムでのサービス提供
- 災害時の避難者の二次的障害予防活動
- 安心して暮らせる生活支援（スポーツ含む）

災害時の会員支援

直接支援

- ・災害対策本部の設置 → 人的派遣・物的支援の検討および実施
- ・会員の安否確認（ブロック単位）→ 災害対策本部取りまとめ

間接支援（会費減免等）の検討および実施

- ・災害で家屋損壊等の被害のあった会員への見舞金支給および年会費の減免の検討 → 自治体発行の「罹災証明書(コピー可)」を添付



日本理学療法士協会への報告および支援要請（直接・間接）



(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策部

Kanagawa Physical Therapy Association Department of disaster measures

- ・災害時支援活動基本指針(ガイドライン) 災害対策本部規定 各種規定の作成
- ・災害対策委員会HP・Facebookページの運用 広報および災害時の情報提供
- ・研修会・勉強会の開催 1) 災害対策研修会 2) 災害対策キャラバン 3) 講師派遣事業
- ・2次医療圏域+α 災害時の連絡・調整担当(エリアコーディネーター)の選出



2017.10.31 第8回

相模原ブロック
佐藤 陽介○

2016.11.27 第5回

県央ブロック
中橋 真弓※○

2015.02.01 第2回

湘南西部ブロック
安藤 岳彦#

2016.02.28 第4回
2024.0225 第12回

県西ブロック
矢部 則明○

災害時の連絡・調整担当
エリアコーディネーター
ブロック長兼務
※ 災害対策部員兼務
・DWATメンバー

OJIMTEF修了者

2019.01.22 第10回(合同開催)

横浜西部ブロック
佐藤 洋平

2015.11.15 第3回

川崎北部ブロック
白畑 賢一#

2019.02.13 第11回

川崎南部ブロック
佐藤 範佳#

2017.02.19 第7回

横浜北部ブロック
吉田 公一

2019.01.22 第10回(合同開催)

横浜南部ブロック
藤浦 達

2018.02.23 第9回

湘南東部ブロック
錦織 延洋

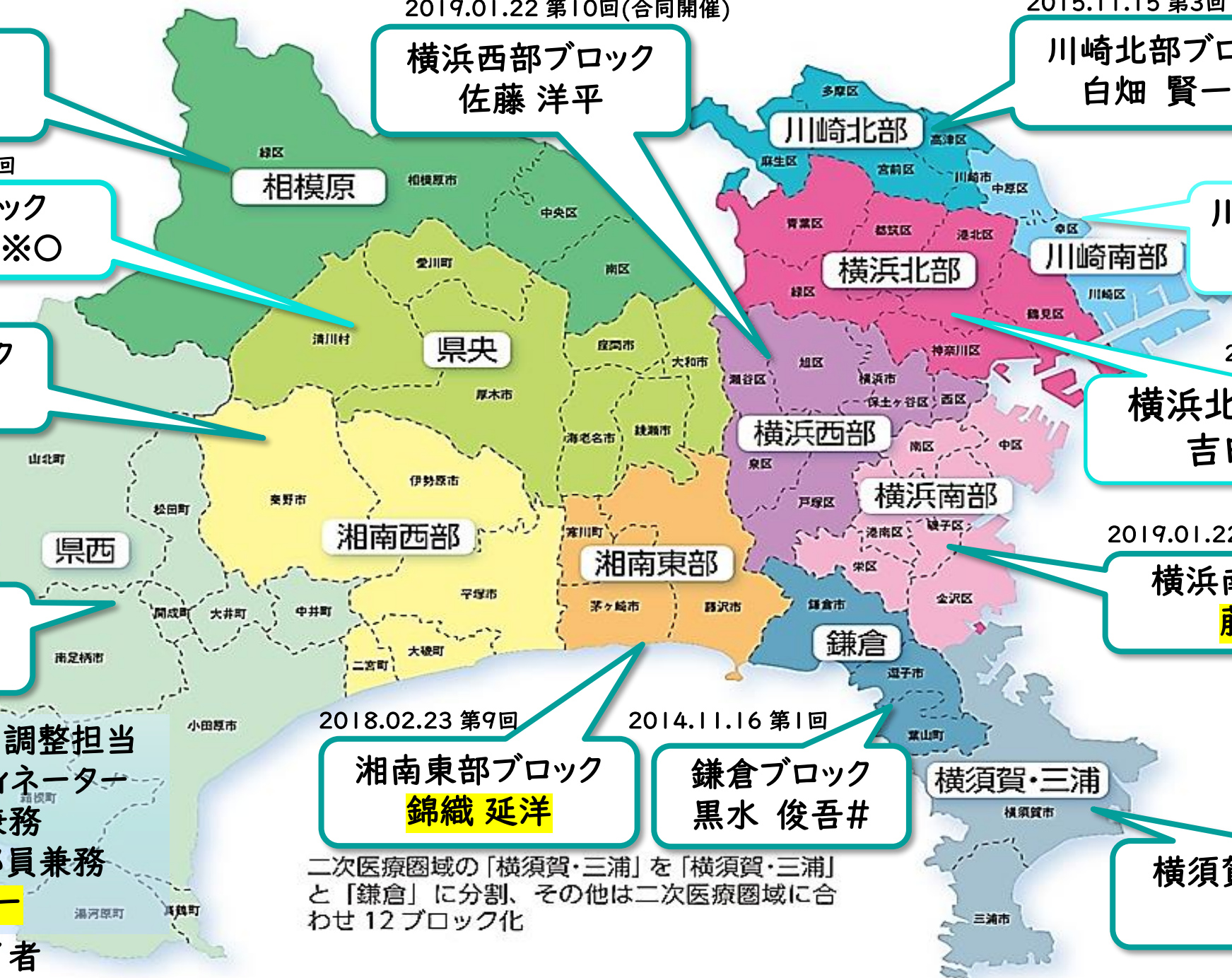
2014.11.16 第1回

鎌倉ブロック
黒水 俊吾#

2017.01.26 第6回

横須賀三浦ブロック
岸 昌親

二次医療圏域の「横須賀・三浦」を「横須賀・三浦」と「鎌倉」に分割、その他は二次医療圏域に合わせ12ブロック化





神奈川県理学療法士会

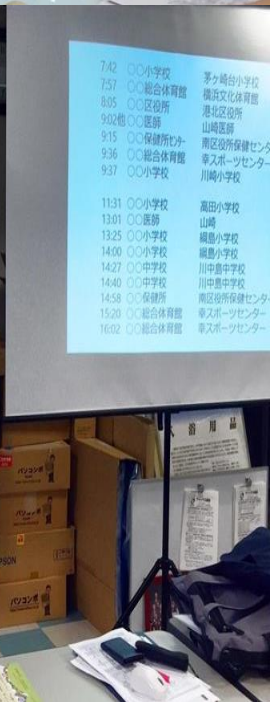
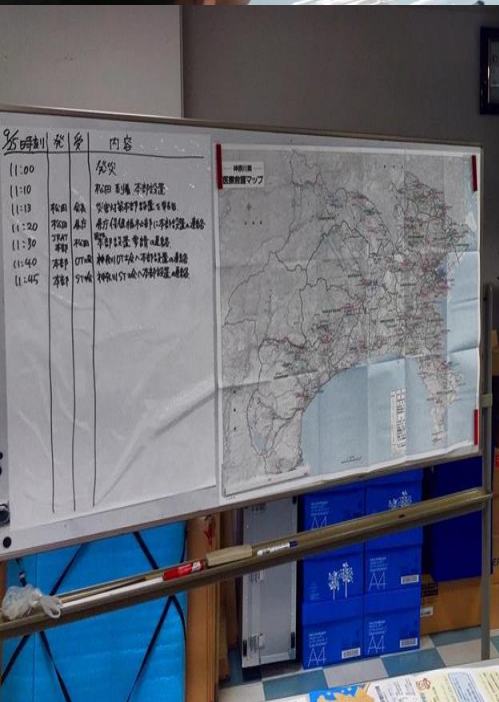
災害対策研修会(年1回)

避難所生活環境改善に向けた保健医療福祉の支援と理学療法士との連携について



災害対策本部立ち上げ演習 (ロジスティクス研修)

災害対策本部におけるロジスティクスの役割と
行政や災害医療チームとの情報共有や連携について



災害対応に関する行政との連携 災害支援ネットワークの構築

平塚市との災害時支援協定の締結

災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定を締結（神奈川県内初：2021年度）

リハビリテーション支援活動では、平塚市に地震などの災害が発生した場合に、公益社団法人神奈川県理学療法士会から人材を派遣し、避難所等の改善に関する対応および提案や、要配慮者のリハビリテーション適応に対する評価と情報収集および助言（福祉避難所への搬送適応に関する情報収集を含む）等を行います。

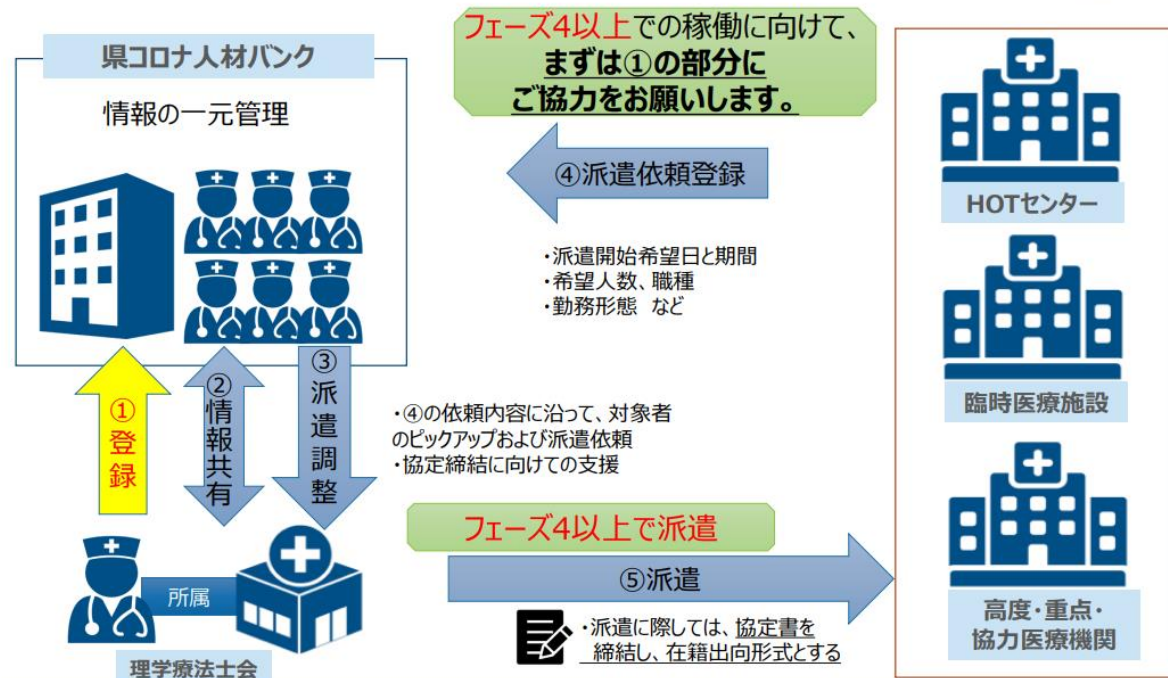
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/press/page02_e00001_01264.html



大規模災害時の派遣を視野に入れたCOVID-19感染拡大期に向けた保健医療提供体制の構築 コロナ医療人材バンクへの参画 県医療危機対策本部室災害医療グループ

新型コロナウイルス感染症の感染急拡大に備え、感染症に対応可能な医療人材の確保・配置転換を行う仕組み(人材バンク)を構築しており、県が支援を要請できる医療従事者を人材バンクとしてリスト化し、感染急拡大期に県内のコロナ受入医療機関等への派遣を行う取組を行っています。課題解決には、早期のリハビリテーション介入による身体機能維持、回復のための仕組みづくりが必要です。

現在の人材バンクの全体概要イメージについて



災害対応に関する多職種連携

神奈川DWAT(災害派遣福祉チーム)に参画

神奈川県福祉子どもみらい局地域福祉課との災害時における支援に関する協定を締結

災害の発生に備え、神奈川県と関係団体等が協働し、大規模災害時における高齢者や障がい者など、特に配慮を要する者(災害時要配慮者)支援として設置された。

【構成団体】

- 神奈川県介護支援専門員協会
- 神奈川県介護福祉士会
- 神奈川県高齢者福祉施設協議会
- 神奈川県社会福祉協議会
- 神奈川県社会福祉士会
- 神奈川県身体障害施設協会
- 神奈川県知的障害福祉協会
- 神奈川県理学療法士会
- 神奈川県老人保健施設協会
- 相模原市高齢者福祉施設協議会
- 横浜市福祉事業経営者会
- 神奈川県作業療法士会

登録員登録研修	20名参加
リーダー養成研修	5名参加

2023年度 2名受講
先遣隊 2名 チームリーダー 5名

DWAT:Disaster Welfare Assistance Team

災害後のフェーズと理学療法士が行う支援

フェーズ	第1期	第2期	第3期	第4期
期間	発災～72時間	4日～1ヶ月	2ヶ月～6ヶ月	6ヶ月以降
過程	被災混乱期 (救急救命期)	応急修復期	復旧期	復興期
被災地状況	ライフライン破綻 医療機能困難 避難所避難	ライフライン復活 支援物資確保 避難所管理運営(1次・2次) 応急仮設住宅移行	避難所集約化 福祉避難所への移行 応急仮設住宅生活	避難所閉所 福祉避難所閉所 応急仮設住宅生活 復興住宅 生活再建
災害医療	救命・救助	医療救護・リハ 公衆衛生支援	リハ・住民自治 仮設・巡回診療	地域医療再建
支援チーム	DMAT・DPAT DHEAT	JDA-DAT JMAT DWAT JRAT	DWAT JPTA・JAOT	CBRT (地域リハ支援センター)

DMAT : Disaster Medical Assistance Team (災害派遣医療チーム)
 DHEAT : Disaster Health Emergency Assistance Team (災害時健康危機管理支援チーム)
 DWAT : Disaster welfare Assistance Team (災害派遣福祉チーム)

DPAT : Disaster Psychiatric Assistance Team (災害派遣精神医療チーム)
 JDA-DAT: Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team (日本栄養士会災害支援チーム)
 JRAT : Japan Rehabilitation Assistance Team (大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)

《2024年能登半島地震 本会からの派遣状況》

JIMTEFベーシック・アドバンスコース修了者, 神奈川DWAT登録メンバーを選出

2024.01.05-03.31 部員のべ11名を派遣

場所: JRAT中央対策本部、石川JRAT本部、能登中部保健医療福祉調整本部、輪島市

役割: 各地の保健医療福祉調整本部と現地災害対策本部の支援

避難所巡回支援調整(七尾市・志賀町・輪島市・珠洲市)

《1月》 1/5, 1/6-8, 11-12, 22-24, 25-27

JRAT中央対策本部(東京)

《2月》 1/29-2/2, 2/5-7, 10-11, 11-12, 12-13

石川JRAT本部 能登中部保健医療福祉調整本部

JRAT中央対策本部(東京)

《3月》 3/16-21, 3/24-29 神奈川DWAT 第1クール, 第3クール

輪島市内の避難所, 福祉避難所

《2024年能登半島地震》

災害リハビリテーション支援として

- ・避難所・福祉避難所、応急仮設住宅内の生活環境調整
- ・仮設トイレの環境調整 動線確認・段差解消
- ・仮設住宅の居室・浴室環境の確認・調整など

を実施しています。

